

令和5年度

筑波大学大学院
人文社会ビジネス科学学術院
ビジネス科学研究群
法学学位プログラム（博士後期課程）

入学試験問題

[外国語]

英語

(2022年9月実施)

[注意事項]

答案用紙は、2枚使用し、裏面は使用しないこと。

以下の文章（出題用に編集している）について、問1から問5に答えなさい。

本文については、著作権法により
公表していません。

(Arie Rosen, *Statutory Interpretation and the Many Virtues of Legislation*, 37 OXFORD JOURNAL OF LEGAL STUDIES, 134, 134-37 (2017).)

問1 下線部①における‘this complexity’とは何か、説明しなさい。

問2 下線部②における‘Antonin Scalia’s defence of textual originalism’とはどのようなものか、簡潔に説明しなさい。

問3 下線部③における‘two implicit assumptions’とは何か、簡潔に説明しなさい。

問4 下線部④を日本語に訳しなさい。

問5 下線部⑤を要約しなさい。

令和 5 年度

筑波大学大学院

人文社会ビジネス科学学術院

ビジネス科学研究群

法学学位プログラム（博士後期課程）

入学試験問題

[専門科目]

(2022 年 9 月実施)

[注意事項]

1. **問題 1**～**問題 3**のうちいずれか 1 問について答えなさい。
2. 解答に当たっては、どの問題を選択したかを明示しなさい。
3. 選択した問題が明示されていない場合には、**問題 1**に対する答えとして採点するので、注意すること。
4. 答案用紙は、2 枚使用し、裏面は使用しないこと。

問題 1

以下の（１）～（３）すべてに答えなさい。

- （１） 最安値損害回避者（cheapest cost avoider）とは何か、説明しなさい。
- （２） 日本の民法は、不法行為責任について過失責任を規定しているが（709条）、個別の法律が無過失責任を規定している場合もある。立法論として、どのような場合に過失責任を規定すべきであり、どのような場合に無過失責任を規定すべきか、「法と経済学」の知見に基づいて論じなさい。
- （３） コース（R. H. Coase）の定理とは何か、説明しなさい。

問題 2

著名標識を不正競争防止法で保護する意義・趣旨と、その問題点を論じなさい。

問題 3

以下の文章は、いわゆる三菱重工長崎造船所（会社側上告）事件最高裁判決（最高裁平成7年（オ）第2029号、同12年3月9日第1小法廷判決、民集54巻3号801頁）の一部を抜粋したものである（なお、横書きの引用文形式で表記していることに伴い、文中の漢数字を算用数字に、「」を『』に、それぞれ改めている）。この抜粋部分の記述内容の法理論上・実務上の意義はいかなるものかといえるか、及び、記述の内容は妥当なものといえるかについて、あなたの考えるところを論じなさい。

「労働基準法〔中略〕32条の労働時間（以下『労働基準法上の労働時間』という。）とは、労働者が使用者の指揮命令下に置かれている時間をいい、右の労働時間に該当するか否かは、労働者の行為が使用者の指揮命令下に置かれたものと評価することができるか否かにより客観的に定まるものであって、労働契約、就業規則、労働協約等の定めのかんにより決定されるべきものではないと解するのが相当である。そして、労働者が、就業を命じられた業務の準備行為等を事業所内において行うことを使用者から義務付けられ、又はこれを余儀なくされたときは、当該行為を所定労働時間外において行うものとされている場合であっても、当該行為は、特段の事情のない限り、使用者の指揮命令下に置かれたものと評価することができ、当該行為に要した時間は、それが社会通念上必要と認められるものである限り、労働基準法上の労働時間に該当すると解される。」